富士見

令和8年度（第34号） 令和8年10月15日
発行元：山梨県立富士見支援学校本校・旭分校
本校所在地：甲府市富士見一丁目1－1
TEL:055-252-3133 Fax:055-252-6167
E-mail:fujimi-yg@kai.ed.jp URL:https://www.fujimiy.kai.ed.jp
旭分校所在地：韮崎市旭町上條南割3314－13
TEL:0551-22-7144 Fax:0551-22-7143
E-mail:fujiasa-yg@kai.ed.jp URL:https://www.fujiasay.kai.ed.jp

安心して学び続けるために

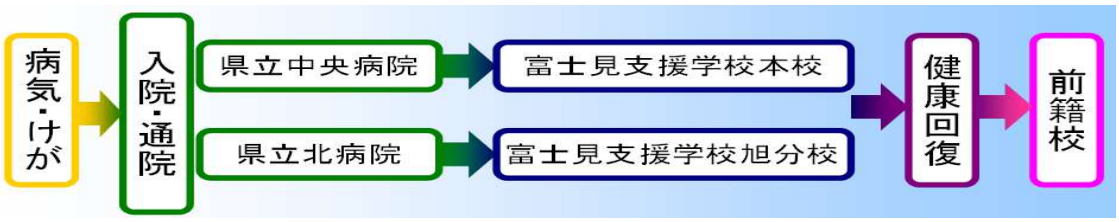
校長　伊神　美香

山梨県立富士見支援学校は、甲府市にある本校、韮崎市にある旭分校それぞれが、山梨県立中央病院、山梨県立北病院に併設され、入院・加療中の小中学生のために病状や特性に配慮しながら、学習指導や支援を行っている病弱特別支援学校です。個別の教育的ニーズや学びの特性に合わせ、基礎的・基本的な学力の定着とともに、学びに向かう力や意欲、社会性の育成を目指し、さまざまな教育活動を行っています。令和７年度からは、入院期間中に当校の教員から受けた学習について、一定の条件の下、在籍校の指導要録上の出席扱いとする手続きもすすみ、児童生徒は安心して心身の健康の回復を図ることが可能になりました。

また、山梨県内における病弱教育のリーディングスクールとして、県内の各学校が取り組んでいる特別支援教育の支援を行っています。山梨県教育委員会のインクルーシブ教育推進事業の一環と位置づけられた病弱専門部特別支援連携会議では、同会議発足以来事務局を務め、大学教授、小児科医、精神科医などの助言を受けながら、県内病弱教育の課題の把握や、県内の病弱支援学級等担当者間のネットワーク形成を図っています。

学びに向かう子供たちのまなざし、失敗を繰り返しても取り組む姿勢、そしてその姿を温かく見守り支援する教員の姿。子供たちの将来の姿を想像しつつ、安心して学び続けることができる場所として当校は存在しています。引き続き、当校の教育活動に対するご支援とご協力をお願いいたします。

○富士見支援学校への転入・前籍校への復学について



県立中央病院・北病院で加療している小・中学生のうち、医師が富士見支援学校での教育が望ましいと判断し、本人及び保護者から希望があった場合、富士見支援学校へ転入となります。また病状が回復し前籍校への通学が可能になれば、医師の診断のもと、小・中学校へ復学することとなります。

○よくある質問

Q：どのような教育が行われているのか。
A：基本的に小・中学校に準じた教育を行います。病状によっては、学校に慣れることに主眼を置き、子どもの興味関心に合わせた題材で学習を進めていくこともあります。転入前に在籍していた学校（前籍校）と連絡を取り合いながら、それぞれのペースに合わせて教育を行っています。

Q：授業料などは必要ですか？
A：必要ありません。個人活動費・教材費等の集金はあります。

Q：卒業はできますか。
A：本校で卒業することは可能です。また、前籍校で卒業することもできます。本人・保護者・主治医・前籍校と相談しながら復学の時期や卒業について相談し決めていきます。

本校の紹介

富士見支援学校本校について

富士見支援学校本校は、病気やけが等により県立中央病院に入院又は通院している小・中学生が学習の遅れが生じないよう授業を受けることができる学校です。

入院している児童生徒は、病院と廊下でつながっている校舎に登校して授業を受けます。また、病状や治療の段階に応じて、ICT 機器を活用し、病室と教室をつないだオンライン授業も行っています。さらに、円滑な復学をめざし、学習面の支援だけではなく、入院中や退院後の不安や緊張についても丁寧に話を聞きながら相談支援を行っています。

通院している児童生徒は、県立中央病院の小児科や精神科等の主治医の指示がある場合に通学することができます。病気やけが、心因性疾患、人間関係のつまずきによる環境への不適応など、一人一人の状況に応じた学習を進めています。学習の遅れを補うとともに、心のサポートを行うことで、明るさや自信を取り戻し、在籍校への復学や卒業後の進路に向けて主体的に歩みだそうとする意欲を育んでいます。

教育課程

週あたりの授業時間数です。入院生・通院生どちらの場合も、小・中学校に準ずる教育課程で学習します。また、特別支援学校の教育課程で特別に設けられた「自立活動」の中で、個々のニーズに応じた指導も行っています。

小学部

学年	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	道徳	特別活動	総合的な学習	外国語活動	自立活動	合計
1年	8		4		3	2	2		2		1	1			2	25
2年	8		5		3	2	2		2		1	1			2	26
3年	7	2	5	2.6		1.7	1.7		2		1	1	1	1	2	28
4年	7	2.6	5	3		1.7	1.7		2		1	1	1	1	2	29
5,6年	5	3	5	3		1.5	1.5	1	2	2	1	1	1		2	29

中学部

学年	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合的な学習	特別活動	自立活動	合計
1年	4	3	4	3	1	1	2	2	4	1	1	1	2	29
2年	4	3	3	4	1	1	2	2	4	1	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	2	1	4	1	1	1	2	29

☆☆学習の様子☆☆



《小学部：宿泊学習》





《小学部：授業の様子　家庭科》



《中学部：授業の様子　理科》





《中学部：宿泊学習》





《学園祭の様子》

旭分校の紹介

富士見支援学校旭分校について

心因性疾患や人間関係のつまずきからの不適応等により、県立北病院に入院又は通院している小・中学生が、治療を受けながら学ぶ学校。小・中学校に準じた教育課程で学習をします。自立活動（自立に必要な力を育てる学習）を中心にした初期段階、クラスに入って少しずつ集団や日課に慣れていく適応段階、通常の日課表に沿って主体的に活動する通常段階とそれぞれの実態に応じた指導を行っています。

教育課程

小学部の４教科（国語、社会、算数、理科）と中学部の５教科（国語、社会、数学、理科、外国語）は、学習空白に対する不安の解消や自信の回復をねらいに、準ずる教育を基本として一人一人の実態に合わせた内容を個別又は小集団で行っています。技能教科は個々の実態に応じて学部全体で取り組んでいます。総合的な学習の時間は、宿泊学習などの行事に向けた取組、興味関心をもとにテーマを決めて行う調べ学習等に取り組んでいます。自立活動は、個々の目標に向かって個別又は集団で取り組みます。集団での自立活動としてふれあい活動を行っています。人とつながる楽しさを味わったり、係活動を経験したりすることを目的に、学部全体で様々な活動を行っています。下の表は基本的な週当たりの授業時間数です。個々の実態に応じて柔軟に対応もしております。



小学部	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	外国語	特別の教科道徳	総合的な学習	特別活動	自立活動	合計
１・２年	9		4		3	1.5	1.5		3			1		1	2	26
３年	7	2	5	2.5		1	1		3	1		1	1.5	1	2	28
４年	7	2.5	5	3		1	1		3	1		1	1.5	1	2	29
５・６年	5	3	5	3		1	1	1	3		1.5	1	1.5	1	2	29

中学部	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術家庭	保健体育	外国語	特別の教科道徳	総合的な学習	特別活動	自立活動	合計
１年	4	3	4	3	1	1	1	3	4	1	1	1	2	29
２年	4	3	3	4	1	1	1	3	4	1	1	1	2	29
３年	3	4	4	4	1	1	1	2	4	1	1	1	2	29

☆☆学習の様子☆☆



《ALT とオンライン授業：外国語》



《点描画の作成：美術》



《苗植え作業：技術》



《ソフトボール：保健体育》



《ふれあい活動》





《中学部校外学習》



《旭まつり》

富士見は支援します！

子どもたちの笑顔のために…

富士見支援学校本校と旭分校は、病弱特別支援学校として、慢性疾患や心因性疾患を持つ幼児、小学生、中学生、高校生が病気を抱えつつも、いきいきとした学校生活を送ることができるように、お子様、保護者、学校の先生からの相談に応じ、援助支援や情報提供を行います。

教育相談では、電話相談や来校相談を通して、お子様や保護者それぞれのお話をうかがい、家庭や学校で過ごしやすくなるよう支援します。訪問支援では、学校の先生からの電話相談から開始し、実態を捉える視点や病状、児童・生徒の状況や実態に応じた具体的な支援や教育的対応について、学校の先生方と一緒に考えます。相談内容についての秘密は厳守いたします。

お子様のことで気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。

保護者の皆様へ

このような困りや悩みに対応します。

◆病気や困りを抱えながら学校に行くことに、不安がある。
◆頭痛や腹痛で学校に行けない。
◆夜眠れない、朝起きられない。
◆不安や緊張が強く、クラスに入れない。
◆友達や先生との関係で悩んでいる。
◆やる気が出ない、学習に集中できない。
など

まずはお電話ください

・電話相談、来校相談に対応します。
・お話をうかがう日について、相談、調整をさせていただきます。

学校の先生方へ

〇電話相談
学校だけで抱え込まずに、お電話ください。

〇訪問支援　園や学校にうかがい授業観察を行った上で、支援や指導を一緒に考えます。

〇研修支援　内容はご相談ください。

◆幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校の先生方なら、私立公立を問わず対応します。
◆病弱教育をはじめとする特別支援教育に係わる子どもの理解や、今後の支援に関するアドバイス、研修支援に応じます。
◆「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成のアドバイスにも応じます。
◆関係機関との連携に関するアドバイス、情報提供に応じます。

学校見学等の希望についても、まずお電話ください。

相談はこちらへ



ホームページ

富士見支援学校　本校

担当：　相談支援部
住所：　甲府市富士見一丁目１－１
電話：　055-252-3133
Ｅメール　soudan@fujimiy.kai.ed.jp
ウェブサイト　https://www.fujimiy.kai.ed.jp

〇県立中央病院加療中の方は県下全域
〇加療していない場合の支援地域
甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市、甲斐市、中央市、昭和町

ホームページ



富士見支援学校 旭分校

担当：　相談支援部
住所：　韮崎市旭町上條南割 3314-13
電話：　0551-22-7144
Ｅメール　fujiasa-yg@kai.ed.jp
ウェブサイト　https://www.fujiasay.kai.ed.jp

〇県立北病院加療中の方は県下全域
〇加療していない場合の支援地域
北杜市、韮崎市、南アルプス市、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町